上高地スノーハイク　山行報告

（山域）　北アルプス前衛
（コース）　2 月 27 日　釜トンネル～上高地～小梨平（幕営）
　　　　　　2 月 28 日　小梨平～上高地～釜トンネル
（日時）　2 月 26 日(金)夜発、2 月 27 日(土)～28 日(日)
（天候）　27 日快晴のち曇り・雪、夜間風あり、28 日快晴
（参加者）　(CL)内堀、(SL)狩野、(食担・会計)時田、吉瀬、萱野(香)、小宮山、宮城、(記録)佐藤
（山行タイム）
　27 日　釜トンネル 08:40―10:00 大正池―上高地 BT で大休止―11:50 河童橋―12:10 小梨平
　38 日　小梨平 08:20―11:20 釜トンネル

（山行報告）
≪０日目　2 月 26 日≫
車 2 台で 21 時台に出発、各地ピックアップ後、中央道・双葉 SA で合流した。松本 IC で降りてコンビニで物資補給、沢渡の手前の道の駅「風穴の里」に 1 時すぎに到着。収納袋がサンドバッグのように大きい巨大カマボコテント（カマテン）を張って小宴会後に就寝。

≪１日目　2 月 27 日≫
5 時すぎ起床、お天気は快晴！テントを撤収して各自朝食を摂り予定どおり 7 時に道の駅を後にする。沢渡を素通りして、釜トンネル前に車 2 台を停車。荷を下ろし終わって 6 人はそのまま待機、車 2 台を下の沢渡駐車場に戻し、タクシー1 台で戻ってくる 2 人を待つ。なるほど、荷が多いし経済的である。

今回、ソリに荷物を載せて引くと聞いていたので、子供が遊ぶようなソリを想像していたがとんでもない、用意されたのはスノーモービル用を改造したがっしりしたモノで、テントや食料など数十 kg 載せられる。前部のロープ引き担当 2 名の気分は植村直己物語の犬である。準備が整った 8:40、ヘッドランプを点けて出発する。釜トンネルの斜度は 11 度もあり、ソリを引きながら通過するのに 15 分がかなりしんどい。誰かが言っていた通り、ここの登りが本当に今回の山行の核心部であった。犬はエライと思った。

釜トンネルを抜けたところで小休止。すれ違う人に大きなソリを驚かれたり、おしゃべりしたり、ワンワン言ったり、さらに進むこと 1 時間ほどで大正池の畔に到着。目の前の焼岳からは噴煙が出ているのがよく見える。梓川上流に見える明神岳や穂高連峰には少し雲がかかっているのが残念だが、眺望がすばらしい。各自思い思いに写真撮影を楽しんだ後、上高地に向けて出発し、1 時間立たないうちに上高地 BT（バスターミナル）に到着する。静まり返っていて夏場の喧騒が嘘のようである。お湯を沸かして各自昼食を摂り大休止。BT では冬季用のトイレが使えた。出発するときにはいつの間にか空は雲で覆われ、少し先の河童橋につく頃には小雪がちらついた。小梨平のテン場に進む途中、支流の川でプラティパス全員分の水を汲んでいく。K さん、冷たい水汲み頑張ってくれてありがとう。ちなみに、小梨平の

冬季用トイレは一番手前のトイレ建物の裏手です。

テント設営場所を決めて、いよいよ 10 人用のビッグサイズ、カマテンを張る。と、ここで事件が発覚する。お酒一式とオリーブ油を入れた袋がソリの中にないのである。釜トンネル入り口に荷物を置いてきてしまったのではないか、酒はなくても各々で持ってきたのがあるので我慢できるが、オリーブ油がなければアヒージョが作れずスープだらけになってしまうということで、捜索隊を CL&SL&K さんの 3 人で編成し、本日の出発地点に向けて出発。ガッツあるなあ、ご一緒の山行は 9 回目ですけど、一番頼もしく見えました。本来の計画では明神池まで往復するはずが、この事件のドタバタですっかりなかったことになる。しばらくして、沢渡に駐車した車の中に置き忘れた説が濃厚との電話連絡があり、沢渡までタクシーで戻って引き返すという、なんかすごい流れに。3 人が戻ってくるまで、残りの 5 人で夕飯の調理を進め、いい匂いが立つ中、頑張ってる 3 人には申し訳ないけど暖かいテントの中で CL ネタを中心に話しが盛り上がる。夕食はアヒージョ、ポトフ、サラダ、豪華オシャレ系です。

本日のメニュー

アヒージョ
（タコ、ニンニク、野菜たくさん）

ポトフ
（トマト味、山盛りソーセージ）

サラダ
（合鴨、生ハム、サーモンのせ）

捜索隊が出発して 4 時間弱、タクシーの往復時間を考えるとあり得ないスピードで 3 人は帰還、秀吉の「中国大返し」ならぬ「沢渡大返し」である。本日 3 倍の距離、どうもお疲れ様でした。3 人を暖かいテント内に迎えて、乾杯、美味しい夕食に舌鼓を打つ。お酒は今夜もバーUCHIBORI が開店、ジントニックが女性にもウケて大人気である。ジントニックが尽きる頃、ワイン等が投入、宴会はさらにヒートアップする（特に M さん）。新たなエピソードが生まれ、宴が最高潮となり、腹がよじれるくらい笑い、小梨平は大いに盛り上がって 22 時くらいにようやく就寝となる。夜は風が強かった。

釜トンネル前で待機

そろったところでヘッデン点けて出発

大正池より、噴煙立ち昇る焼岳

梓川上流、明神岳方面

上高地 BT で大休止中

河童橋

雪がちらつく中、小梨平へ

小梨平でカマテン設営

トマト風味ポトフ、奥はアヒージョ

野菜が隠れる豪華サラダです

≪２日目　２月 28 日≫

５時半くらいに起床。空を見上げれば予報どおり晴れている。河童橋でモルゲンロートを見ようと皆で６時くらいに朝のお散歩をする。晴れているけど少し雲が多く、残念ながら見事なモルゲンとはならない。それでも薄っすらと淡いピンク色に染まった焼岳や明神岳は美しかった。テントに戻り朝食を摂る。ポトフにはねじねじのパスタを投入、残ったアヒージョの油にはフランスパンを浸み込ませて食す、これがウマい。ゆったりとした食事後、テントを撤収して荷造りをして出発した。

大正池に着いた頃、ちょうど無風となり、焼岳が湖面に映り見事な「逆さ焼岳」が見えた。少し時間が経つと波が経って見られなくなったので非常にラッキー。西穂高岳、独標もよく見える。思う存分に写真撮影会を行い、満足したところで最終ピッチに入る。

釜トンネルの急な下りは、さぞラクに下れるだろうな、ソリに轢かれないように注意が必要だな、と思っていたが大間違い。乾いた路面との摩擦が大きく、ソリを引くのに雪上よりも苦労した。やっとの思いで釜トンネルを出てからしばらくたって、大正池から先行していたチームが沢渡から車を上げてきて合流、お疲れ様でした！

立ち寄り湯は新島々手前の「せせらぎの湯」、なかなかいいお湯です。そこで信州名物の山賊焼きを食べる。鶏のモモ肉を丸ごと揚げたもので、衣がサクサク、中は肉汁たっぷり、ニンニクが効いていて食が進む。すごいボリューム、これで 800 円は安い。帰りの車中では今後の山話に花が咲き、高速道路は大して渋滞することもなく、楽に帰葉できた。

今回はピークハント的な登山ではありませんでしたが、山の楽しみ方がまた拡がりました。いろいろ話をして、美しい景色を見て美味しい食事を摂り、多くのエピソードが生まれました。その中に自分も加わっていることに喜びを感じます。みなさん、今回もありがとうございました。

大正池で逆さ焼岳

焼岳バックに最後の記念撮影

注意人物は誰？